

TOTO

オートクリーンU (個別小便器用自動洗浄システム)


TEA61型
TEA62型





商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。




1-1 安全上の注意 (安全のために必ずお守りください。)

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

- この説明書では商品を安全に正しく取り付けただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

表示	意味
 注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があります。

	してはいけない「禁止」内容です。
	ふる、シャワーなどの「水場での使用禁止」内容です。
	分解しないでください。
	必ず実行していただく「強制」内容です。

注意	
	商品に水をかけないでください。 電気製品ですので、故障・事故の原因になります。
	浴室など湿気の多い場所には設置しないでください。 故障の原因になります。
	この説明書に記載された項目以外は分解・改造しないでください。 故障やけがをしたり、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

注意	
	強い力や衝撃を与えないでください。 故障・水漏れの原因になります。
	<p>一般地用</p> <p>凍結のおそれがある場所では使用しないでください。 部品が破損し、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。 凍結による破損は、保証期間内でも有料修理となります。</p> <p>本体の通水路には抵抗となるようなオリフィスなどをつけないでください。 洗浄性能への悪影響や水漏れのおそれがあります。</p>
	<p>寒冷地用</p> <p>凍結のおそれがある時期は、凍結予防弁の回転軸を確実に開けてください。 閉めたままにしておくと、流動水が流れず、通水内部が凍結し、部品が破損し、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。</p> <p>取付接続部に腐食、ひび割れ、水漏れなどのないことを十分お確かめのうえ、お取り付けください。 故障・水漏れの原因になります。</p> <p>定期的(年2回)に配管のまわりを見て水漏れがないか確認してください。 部品の劣化・摩耗などになる水漏れが発見できず、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。</p>

2

仕様

品番	TEA61D	TEA61GD	TEA61-1D	TEA61ADX	TEA62ADX	TEA61ADFX	TEA62ADFX	TEA61DF
タイプ	既設取り替え				リモデル			既設取り替え
セット対象小便器	一般小便器				一般小便器 (スプレッター式)	一般小便器	一般小便器 (スプレッター式)	一般小便器
一般地/寒冷地	一般地				寒冷地			
取り付け可能な フラッシュバルブ	T60RNX T60PX T60SX TU100PX (注1)	TG60RNX TG60PNX TG60SNX (注2)	UF-2 UF-3 UF-4 (注3)	_____			T60RNF T60PF T60SF (フラッシュバルブ同梱)	
商品寸法 (mm)	76 (幅) × 194 (高さ) × 100 (奥行)							
電源	単3形アルカリ乾電池×2本							
電池寿命	月4000回使用で約2年 (寒冷地タイプは使用温度により寿命が短くなる場合があります。)							
感知距離	器具前面より70cm以内							
前洗浄	切り替えスイッチ付き							
洗浄停止モード	センサー停止機能付 (10分)							
設備保護洗浄	24時間洗浄しない場合自動洗浄							
使用温度範囲	1~40℃				-10~40℃ (水温は4~40℃) -5~40℃ (水温は2~40℃)			
給水圧力	最低必要水圧: 0.07MPa (流動時)、最高水圧: 0.75MPa							
給水接続部	15A (ねじサイズ: PJ1/2)							
吐水量	使用状況に応じて約2.5~4.5L/回 (ファジー制御) ※スプレッター式は約2~4L/回							
使用水	水道水							

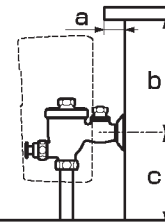
- (注1) 大型押しボタンのタイプ (T60PQX、T60SQX) には取り付けできません。
 (注2) 旧TG60タイプ (TG60R、TG60P、TG60S) には取り付けできません。
 (注3) UF-3V型には取り付けできません。

3

取り付け前に

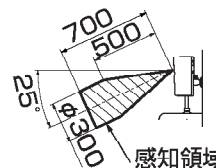
1. 取付条件の確認

- 仕様欄に記載した品番以外のフラッシュバルブには取り付けできません。また、取付位置にカウンターなどの障害物があると取り付けできませんのでご注意ください。(右図参照)なお、取り付け可能なドライバーをご準備ください。



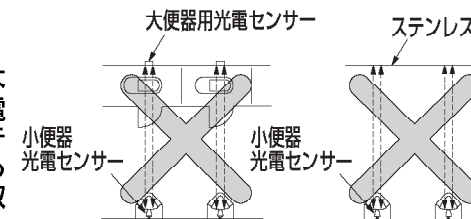
- ・ a寸法が25mm以下の場合には下記c寸法のみが必要です。
- ・ a寸法が25mmより大きい場合は下記b寸法・c寸法の両方が必要です。

- 下図感知領域内に手すりなどの障害物が入るような現場は取り付けできません。



	TEA61D(T60用) TEA61ADX・TEA62ADX TEA61ADFX・TEA62ADFX TEA61DF (不凍結フラッシュバルブ用)	TEA61GD (TG60用)	TEA61-1D (INAX用)
b	170mm以上	215mm以上	195mm以上
c	95mm以上	80mm以上	70mm以上

- 光電センサー正面の壁がステンレスなど反射しやすい場所への設置や、光電センサー同士(大便器自動洗浄システム用光電センサーを含む)が対向するような設置は誤動作を生じますので取り付けできません。



2. 洗浄水について

- 給水は水道水に接続してください。井戸水・再生水・雑用水・温泉水・海水は使用できません。

3. その他

- インバータや赤外線を用いた他の機器により誤動作することがあります。
- 梱包前に通水検査をしていますので商品内に水が残っている可能性があります。商品には問題ありません。
- 太陽光が入る場所では太陽光の影響で光電センサーが作動(感知)しない場合があります。
- 雨や水滴などがかかるおそれのある場所、および高温多湿なところでは使用しないでください。

4

部品の確認

次の部品があることを確認してください。

本体部	
<p>TEA61GD</p>	<p>TEA611D</p>
<p>TEA61ADX・TEA61D・TEA62ADX TEA61ADFX・TEA61DF・TEA62ADFX</p> <p>※TEA61ADX、TEA62ADX、TEA61ADFX、TEA62ADFXはフラッシュバルブ本体付きです。</p>	
<p>その他</p>	

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。

5

完成図

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。
既設の小便器、フラッシュバルブの品番により取付寸法が異なります

<p>TEA61D・TEA61DF (既設品U307C+T60PX・PFにセットした場合)</p>	<p>TEA61GD (既設品U370+TG60SNXにセットした場合)</p>
<p>TEA61ADX・TEA61ADFX (U307Cにセットした場合)</p>	<p>TEA62ADX・TEA62ADFX (UFH500にセットした場合)</p>

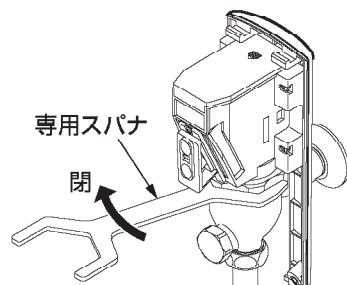
<作動のしくみ>

<p>①感知</p> <p>商品から約70cm以内に接近するとセンサーが感知します。</p>	<p>②本洗浄</p> <p>使用后、小便器より離れると、小便器を本洗浄します。</p>	
<p>前洗浄</p> <p>約2秒後に小便器を洗浄します。</p> <p>注意</p> <p>前洗浄する場合は①の「1.前洗浄の設定」をご参照ください。</p>	<p>洗浄停止モード</p> <p>後カバーの溝に洗浄停止用磁石(付属品)を差し込むと、人が小便器の前に立っても感知しなくなり、掃除時に便利です。10分たつと、通常モードにもどります。</p>	<p>設備保護タイマー</p> <p>長時間小便器を使用しないときは、24時間経過することに自動的に洗浄し、小器排水管の乾きを防ぎます。</p> <p>24時間</p>

5-2

③ 駆動部ユニットの位置がずれないように注意しながら専用スパナで締め付ける。

④ 止水栓をマイナスドライバーで反時計回りに回して開き、袋ナット部の接続部などから水漏れがないことを確認する。



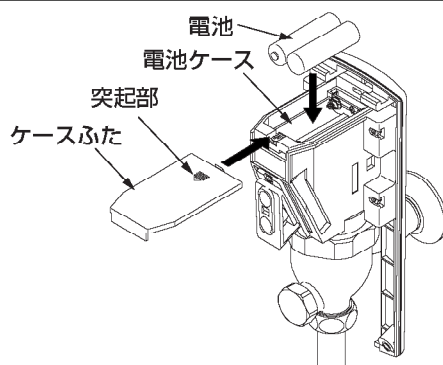
6 乾電池の取り付け

① ケースふたの中央部を押しながら手前に引き出す。

② 電池ケースの電池マークの＋に従って電池をセットする。

③ ケースふたを電池ケースの上部にスライドさせて取り付ける。

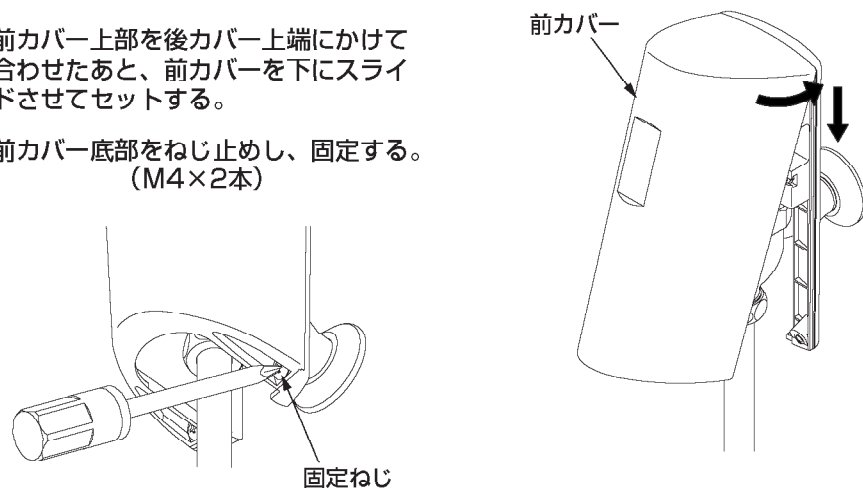
ケースふたが完全に収まっていることを必ず、確認してください。



7 前カバーの固定

① 前カバー上部を後カバー上端にかけて合わせたあと、前カバーを下にスライドさせてセットする。

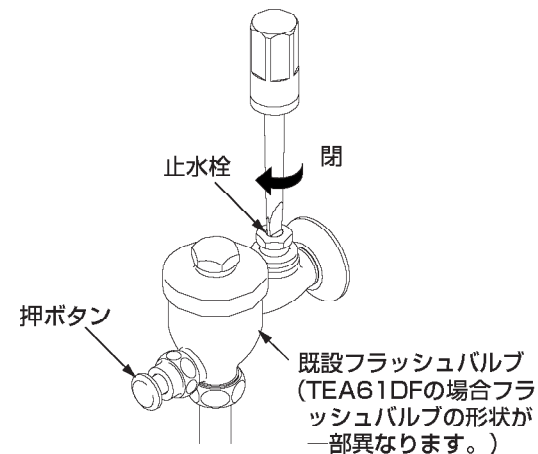
② 前カバー底部をねじ止めし、固定する。(M4×2本)



1 既設フラッシュバルブの止水栓を閉める

① 既設フラッシュバルブの止水栓をマイナスドライバーで時計回りに回して閉める。

② 押ボタンを数回押して水が止まったことを確認する。

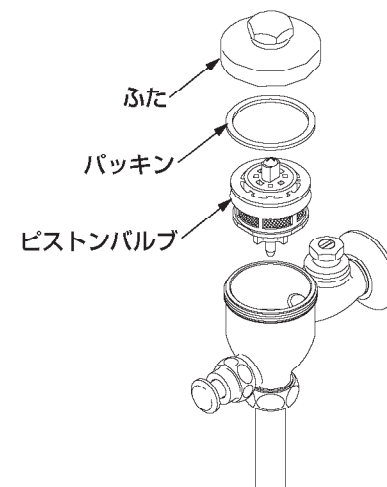


2 既設フラッシュバルブのふたを外す

① ふたの六角面にスパナを掛けてふたを取り外す。

② 中からパッキン、ピストンバルブを取り外す。

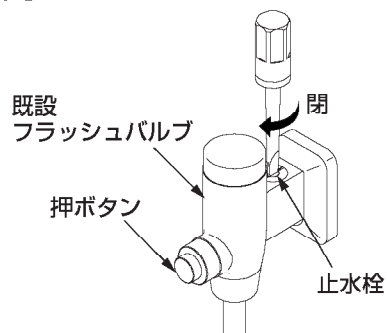
取り外したふたパッキン、ピストンバルブは不要になります。



これ以降の施工手順は、6-1～5項以降に従ってお取り付けください。

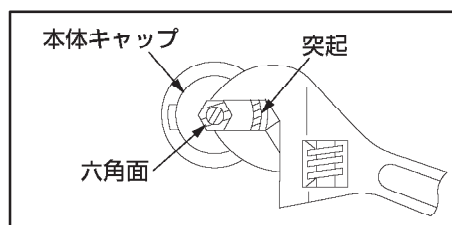
1 既設フラッシュバルブの止水栓を閉める

- ① 止水栓をマイナスドライバーで時計回りに回して閉める。
- ② 押ボタンを数回押して水が止まったことを確認する。

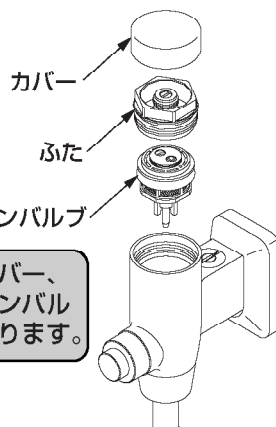


2 既設フラッシュバルブのふたを外す

- ① カバーを反時計回りに回して取り外す。
- ② ふたの六角面にスパナなどを掛けて取り外す。ふたの形状が下図のような場合は、六角面と突起の両方にスパナを掛けて取り外す。
- ③ ピストンバルブをラジオペンチなどで取り外す。

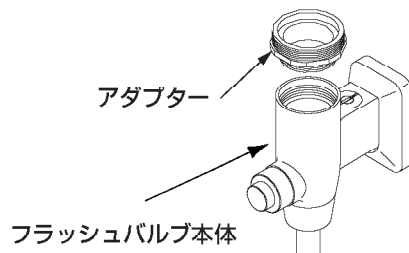


取り外したカバー、ふた、ピストンバルブは不要になります。



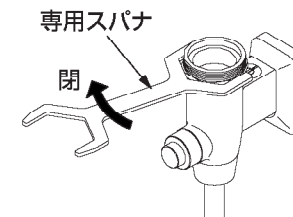
3 アダプターの固定

- ① アダプターを既設フラッシュバルブ本体に挿入する。



- ② アダプターの六角面に専用スパナを合わせ、アダプターが回転しなくなるまで締め付け固定する。

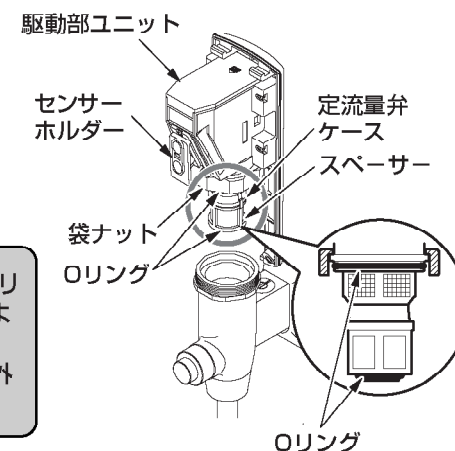
- アダプターの六角面の高さがあまりないため、締め付け時にスパナが外れないよう注意してください。
- アダプターのねじ部だけがをしないよう十分注意してください。
- アダプターを完全に締めていない場合、前カバーが取り付けできないことがありますので注意してください。



4 駆動部ユニットの固定

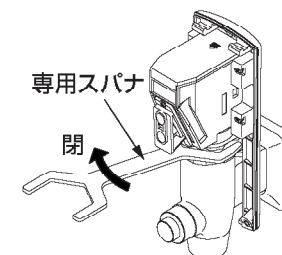
- ① 駆動部ユニットを既設フラッシュバルブ本体に挿入する。
- ② 駆動部ユニットの袋ナットを手で回し既設フラッシュバルブに仮固定する。その時、センサーホルダーの2つの穴が正面に来るようにする。

駆動部ユニット挿入時、袋ナットの内側にあるOリングとスペーサー下部のOリングを傷つけないようにしてください。
なお、スペーサー上部の定流量弁ケースは取り外しが可能なため、取り扱いにはご注意ください。



- ③ 駆動部ユニットの位置がずれないように注意しながらスパナで締め付ける。

- ④ 止水栓をマイナスドライバーで反時計回りに回して開き、接続部などから水漏れがないことを確認する。



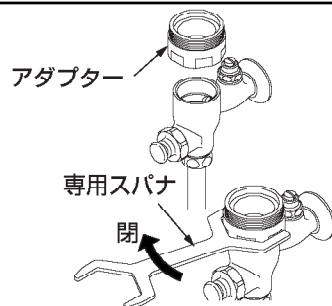
これ以降の施工手順は、6.2-6項以降に従ってお取り付けください。

1 既設フラッシュバルブのふたを外す

施工手順 **7**—**1**、—**2**を参考にして、ふた、パッキン、ピストンバルブを取り出す。

2 アダプターの固定

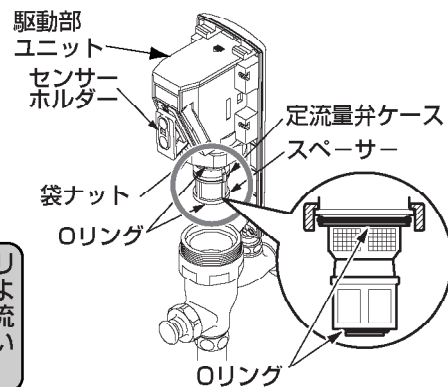
- ①アダプターを既設フラッシュバルブ本体に挿入する。
- ②アダプターの六角面に専用スパナを合わせ、アダプターが回転しなくなるまで締め付け固定する。



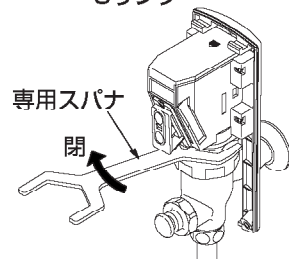
3 駆動部ユニットの固定

- ①駆動部ユニットを既設フラッシュバルブに挿入する。
- ②駆動部ユニットの袋ナットを手で回し、既設フラッシュバルブに仮固定する。その時、センサーホルダーの2つの穴が正面に来るようにする。

駆動部ユニット挿入時、袋ナットの内側にあるOリングとスペーサー下部のOリングを傷つけないようにしてください。なお、スペーサー上部の定流量弁ケースは取り外しが可能なため、取り扱いにはご注意ください。



- ③駆動部ユニットの位置がずれないように注意しながら専用スパナで締め付ける。
- ④止水栓をマイナスドライバーで反時計回りに回して開き、接続部などから水漏れがないことを確認する。



これ以降の施工手順は、**6-2**—**6**項以降に従ってお取り付けください。

1. 試運転

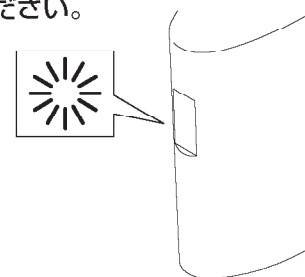
取り付けが完了したあと、次の方法で確認を行ってください。

小便器の前に立ち、人を感じるとランプが点灯、人が立ち去るとランプが消灯すると同時に洗浄水が流れたあと、完全に洗浄水が止まることを確認してください。

ただし、ランプの点灯は、電池挿入後10分間のみですのでご注意ください。

10分間経過後に再度確認したい場合は、電池を一旦取り外し、再度挿入してください。

再挿入後10分間、感知中は点灯します。

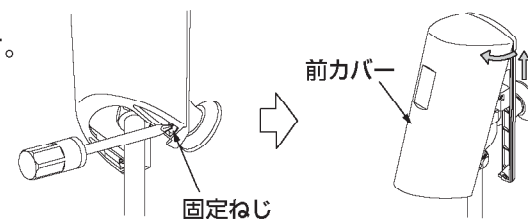


2. フィルターの掃除

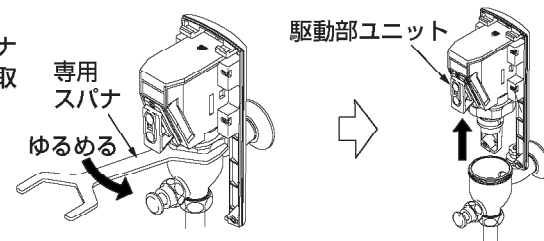
フィルターが詰まると吐水量が少なくなり、十分な機能が発揮されなくなります。取り付け後は、必ずフィルターを掃除してください。また、お客様にもときどき掃除していただくようにご指導ください。

●取り外し手順

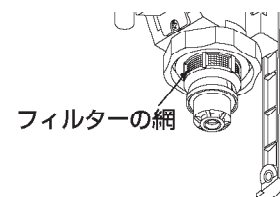
- ①マイナスドライバーで止水栓を閉じたあと、前カバー下部の2本の固定ねじをゆるめ、前カバーを取り外す。



- ②専用スパナで駆動部ユニットの袋ナットをゆるめ、駆動部ユニットを取り出す。



- ③フィルターの網に詰まったごみなどをブラシなどで完全に取り除く。



3. 洗浄水量の調整

駆動部ユニット内部には、定流量弁を内蔵しており基本的には調整は不要ですが、小便器が小さい場合や、水の勢いが強すぎて小便器から水が飛び跳ねたり、あふれ出そうな場合は、止水栓を回して洗浄水量を絞って調節してください。また、水の勢いが弱く、止水栓で調整しても小便器のボウル面で洗浄できない部分がありましたら、定流量弁ケースの内部部品を外して使用してください。

●調整方法

水の勢いが強い場合は時計回りに回してください。水の勢いが弱い場合は反時計回りに回してください。

TEA61ADX・TEA62ADX・
TEA61D・TEA61-1D・
TEA61ADFX・TEA62ADFX・
TEA61DFの場合



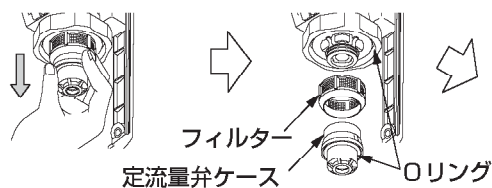
●定流量弁の内部部品の外し方

フィルターの掃除の手順に従って、駆動部ユニットを取り外します。

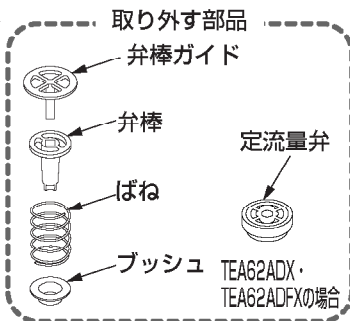
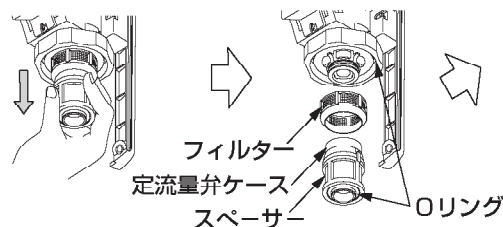
下図のように定流量弁ケースを持って下に引き抜き、定流量弁ケースの内部部品を取り出し、定流量弁ケースを元の位置に取り付けます。

※袋ナットの内部、定流量弁ケース、スペーサーにはOリングが内蔵されていますので、傷を付けないようお取り扱いには十分、注意してください。

TEA61ADX・TEA62ADX・TEA61D・
TEA61ADFX・TEA62ADFX・TEA61DFの場合

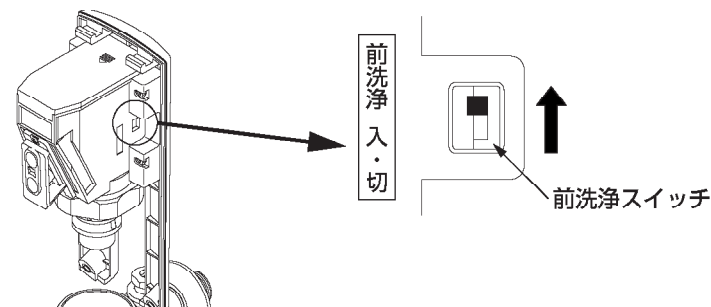


TEA61GD・TEA61-1Dの場合



4. 前洗浄の設定

工場出荷時には「切」の位置に設定しています。前洗浄する場合は、スイッチを「入」の位置に設定してください。感知して約2秒後に洗浄します。設定の際には精密ドライバーなどで無理な力を加えないように行ってください。



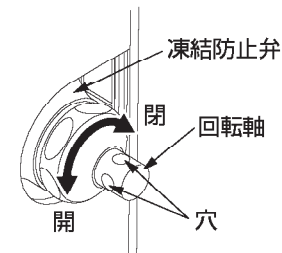
5. 取り扱い上の注意点

商品の機能が十分発揮されるように、下記のことをお客様に十分ご説明ください。
(寒冷地用の場合)

●凍結防止弁の調整

<冬季など凍結のおそれがある時期>

フラッシュバルブ本体の側面に設けられている凍結防止弁の回転軸の穴に細い棒状のものを差し込み、反時計回りに回し、弁を開いてください。この時凍結防止のための流動水が常に少量、小便器の方に流れていることとなります。



<夏季など凍結のおそれがない時期>

凍結防止弁の回転軸を時計回りに回して弁を閉めてください。

⚠ 注意



必ず実行

凍結のおそれがある時期は、凍結予防弁の回転軸を確実に開けてください。

閉めたままにしておくと、流動水が流れず、通水内部が凍結し、部品が破損し、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

※同梱の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

再生紙を使用しています。